

障害者週間の行事の一環として、障害者週間の趣旨にふさわしいセミナーを各団体が実施します。

### 12月6日(火)

#### 1 特定非営利活動法人 日本トウレット協会

##### チック、トウレット症候群とそれに関連する発達障害

12:00~  
12:00

小児期に見られるチックの多くは、まばたきや首をふる動きで、1年以内に消失しますが、一部は多彩な運動性チックと音声チックが出現し、トウレット症候群の経過を迎えることがあります。この症候群の重症例では、全身の激しいチックや、奇声や汚言を認めます。また小児期の併存症としては、注意欠陥多動性障害や広汎性発達障害があります。本セミナーでは、小児科を受診するトウレット症候群の診断や治療、併存症との重なりなどについて、お話しさせていただきます。

【講演者】 星加 明徳(北新宿ガーデンクリニック医師)

#### 2 公益社団法人 日本オストミー協会

##### オストメイト対応トイレの実態調査

12:30~  
14:30

がん等の病気や事故で、お腹にストーマ(人工肛門・人工膀胱)と言われる排泄口を造設したオストメイトと言います。オストメイトはストーマから排泄される便や尿を、ストーマ装具と言われる袋に受け、溜まった排泄物はストーマ装具からトイレに捨てる必要があります。また、緊急事態としてお腹に貼ったストーマ装具を交換するケースもあります。オストメイト対応トイレは、これらオストメイトのニーズに合わせて使いやすいように設計されたトイレですが、色々な仕様のもので設置されています。東洋大学福祉デザイン研究科では、JOAの全国の支部会員の協力を得て、色々なオストメイト対応トイレがどのような状況で、どのように利用されているかのアンケートを実施しましたので、その集計結果を発表いたします。皆様のオストメイトやオストメイト対応トイレへの理解が深まることを期待します。

【講演者】 熊澤 宏夫(東洋大学大学院 福祉社会デザイン研究科)

#### 3 独立行政法人 高齢・障害・求職者雇用支援機構

##### 発達障害者の雇用を促進するために Vol.5

##### ～安定して働き続けるために一人ひとりができること～

14:45~  
16:45

改正障害者雇用促進法の施行や発達障害者支援法の改正といった法整備が進む中で、発達障害者(を含む障害者)の就職件数は大きく伸びています。一方、事業主においては、発達障害者の雇用に際し、一人ひとりの障害特性を見極めた対応が求められ、その対応に不安や課題を抱えている状況にあります。そこで、職務の切り出しや職場内の支援体制などを工夫した具体的な雇用管理事例や、働く発達障害者の声を紹介し、発達障害者の職場定着に向けてそれぞれの立場で取り組むことについて、参加者とともに考えます。

【講演者】 座 長: 松矢 勝宏(東京学芸大学名誉教授)

パネリスト: 井田 泰正(株式会社ジェイ エスキューブ 総務部総務グループ ジョブサポートチーム リーダー)

: 働く発達障害当事者

: 働く発達障害当事者 2名(予定)

: 岡田 雅人(東京障害者職業センター主任障害者職業カウンセラー)

#### 4 特定非営利活動法人 日本失語症協議会

##### 失語症を含む高次脳機能障害者の社会的障壁を考える

17:00~  
19:00

平成28年4月障害者差別解消法が施行され、障害者に合理的配慮の必要性が求められています。見えない障害である失語症・高次脳機能障害者が社会で当たり前に生活していくのに必要な社会支援の施策や福祉環境について考察します。

【講演者】 講演: 上田 敏: ((公財)日本障害者リハビリテーション協会顧問・元東大教授)

パネルディスカッション 司会: 山本 弘子(都立府中療育センター言語聴覚士)

パネリスト: 木村 高子(失語症患者家族会会員)、進藤 美也子(失語症患者家族会会員)

志村 孝子(立川「スマイル」高次脳機能障害者家族の会代表)

藤原 みどり(あきる野高次脳機能障害者家族「こーゆー」代表)

増村 幸子氏(高次脳機能障害者小金井友の会(いちごえい)代表)

【要筆記】 木村茂言語聴覚士、相馬尚美言語聴覚士 (総合司会) 園田 尚美

日時 平成28年12月6日(火)~7日(水)

会場 有楽町朝日スクエア

主催 各団体

お申込み・お問い合わせ 各セミナーの主催団体(最終頁参照)

### 12月7日(水)

#### 1 特定非営利活動法人 大活字文化普及協会

##### 高齢者・障害者等の読み書き困難者への理解を促進する行政施策について考える

10:00~  
12:00

平成28年4月1日に施行された障害者差別解消法には、意思疎通支援の方法として、大活字等の拡大文字表記や読み書き(代読・代筆)支援が明記されています。また、政府が定める基本方針にて、障害者への理解促進を図る研修会の実施が推奨されています。当会は、大活字図書等の多媒体での出版を進めながら、障害者や高齢者等の読み書き困難者への理解をさらに進める行政施策の促進について考えるセミナーを行います。

「すべての人に読書する機会の提供を〜情報バリアフリー多媒体出版シリーズ」

【講演者】 相賀 昌宏(小学館代表取締役社長 / 大活字文化普及協会理事長) ※20分

「弱視者と高齢者にとって必要な出版と表示等の情報提供について」

【講演者】 新井 愛一郎(弱視者問題研究会/国際視覚障害者援護協会/大活字文化普及協会 委員) ※20分

※その他:活動報告(事務局)、著名作家や有識者からの言葉(予定)

#### 2 特定非営利活動法人 全国言友会連絡協議会

##### 「吃音や関連する障害のある人の社会参加・就労支援に向けて」

12:30~  
14:30

吃音がある人は、吃音そのものや、2次障害である社会不安障害、引きこもり、うつなどにより社会参加が難しい人が多いです。初めに、最近吃音外来を開設した医師により、その診療状況や、診断書や手帳の取得によって社会参加ができた事例を交えて講演をしていただきます。そして、当事者、当事者の就労を支援する団体、医師とのディスカッションを通して、吃音とその2次障害の理解を進め、社会参加にあたっての課題などを考えたいと思います。併せて、発達障害者支援法の改正、障害者差別解消法の施行などを法整備が進む中、吃音者を迎える社会がどう変わっていくか、合理的配慮も含めて考えていきます。

【講演者】 岡部 健一(旭川荘南愛媛病院院長(内科))

パネリスト: 当事者、当事者の就労を支援する団体から適任者を選任します。

#### 3 公益財団法人 日本障害者リハビリテーション協会

##### 発達障害児教育への支援～音声教材の有効性と今後の課題について～

14:45~  
16:45

近年、教育現場においては学習障害等の障害児教育に音声教材を利用して成果を得ている事例があります。そこで、発達障害児教育への支援について、音声教材の有効性の観点から専門家、障害当事者の方、教育現場で実践中の方を招いて意見交換をし、今後の支援のあり方・課題について考えます。

【講演者】 日誌 正文(厚生労働省 発達障害対策専門官)

田中 裕一(文部科学省 特別支援教育調査官)

河村 宏(日本 DAISY コンソーシアム会長)

藤堂 栄子(障害当事者: NPO エッジ会長)

神山 忠雄(障害当事者: 岐阜特別支援学校)

#### 4 一般社団法人 日本発達障害ネットワーク

##### 大人の発達障害について ～最近の動き～

17:00~  
19:00

最近注目されている大人の発達障害について、理解促進と、どのような対応がよいのか「合理的配慮」についても提示する場とします。また、今年改正された「発達障害者支援法」についても、最近の動きと合わせながら、報告します。

【講演者】 JDDnet 理事長 市川宏伸、他 JDDnet 理事

